

図書館だより

春期特別号

向陽高校図書館 発行 令和4年4月21日

★先生方のおすすめ本＜第1弾＞★

4月23日は全国で読書活動をすすめる『子ども読書の日』！！
「何かいい本ないかなあ」って思っているなら、向陽高校の先生
がオススメする本を読んでみてはどうでしょう！
あったかい日差しのなかで新しい世界を楽しみましょう！！



(新) 村上 有美子 先生 (進路指導部・理科)

『りんごかもしれない』ヨシタケ シンスケ 著 (ブロンズ新社)



ある日、男の子が家に帰ってくると、食卓の上にリンゴが置いてありました。男の子はそのリンゴをみて、「リンゴにみえるけどリンゴじゃないのかもしれない」と様々な方面へ想像を膨らませていきます。その想像力の豊かさに脱帽です。細かく描き込まれており、ゆっくりじっくり楽しめる大人にもステキな絵本です。

小寺 竜典 先生 (進路指導部・地歴公民科)

『大人も知らない？ふしぎ現象事典』

「ふしぎ現象」研究会・ヨシタケ シンスケ 著 (マイクロマガジン社)

「勉強しなさい」と言われると勉強したくなくなる、テストの前日になると部屋の掃除がしたくなる、同じアニメが好きな人とはすぐに仲良くなれる、「期間限定」と書いてあるお菓子をつい買ってしまふ、天井にある三つの点が見えてしまふ、等々…。そんな経験、誰にでもあるのではないのでしょうか。この本は、誰もが持っているそんな不思議な“心のクセ”を取り上げ、医学や心理学がその現象につけた名前を紹介し解説した雑学本。「ああ、それわかる！」と何度もうなずき、「そんな名前がついているのか」と感心すること請け合いです。ちなみに、天井の点が見えるのは「シミュラクラ現象」というそうですよ。ユーモアたっぷりのヨシタケ シンスケさんの絵を見るだけでも楽しい本です。普段本を読まない人も気軽に面白く読めます。

が付いている本は、現在向陽高校図書館にある本です！ ない本は近日中に入ります！

山中 朋彦 先生 (教育企画部・国語科)

『旅のラゴス』筒井 康隆 著 (新潮文庫)

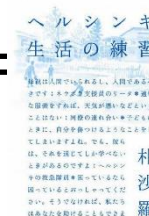


人生の目的が「幸せになること」なら、旅の目的は「幸せになるきっかけをつかむこと」ではないでしょうか？

主人公ラゴスの旅の目的が分かった時、あなたの人生の目的が見つかるかも知れません。哲学みたいな話をしましたが、SF小説です。この本のちょっと不思議な世界観も楽しんでみて下さい。

小荒 さち子 先生 (非常勤講師・国語科)

『ヘルシンキ 生活の練習』朴 沙羅 著 (筑摩書房)



著者は社会学者で2人の子どもの母。2020年2月からフィンランド、ヘルシンキに移り住み、その生活を綴ったエッセイ&コラム。ステレオタイプなイメージを持たれがちなフィンランドについて「生活者」の視点からその実像を知ることができる。

吉田 千文 先生 (非常勤講師・英語科)

『君の脾臓をたべたい』住野 よる 著 (双葉社)



衝撃的なタイトルですが、真っさらな気持ちで読んでもらえたらと思います。主人公は高校生、アニメ化、映画化もされているので、本が苦手な人はこちらでも。

須原 彩乃 先生 (進路指導部・英語科)

『きみはスゴイぜ！』マシュー・サイド 著 (飛鳥新社)

新しいクラス、新しい学年になり「今年は(何かを)やったで！」と思っている皆さん、ふつうの子がスゴイ子になる秘訣がつまった1冊です！



柳澤 庄紀 先生 (非常勤講師・数学科)

『何者』朝井 リョウ 著 (新潮文庫)

就職活動についての小説。私の人生観を180度変えた本。Twitterをやっている人におすすめ。